

惑星を持つ恒星の化学組成データベース構築のミニワークショップを開きました。

この会は、惑星母星のデータベースを立ち上げるにあたって、惑星探査、恒星大気構造と組成分析の研究者の協力を得るためのもので、今後、北大の宇宙物理学研究室と東海大の比田井昌英教授のグループが共同して、データベースを作成することになり、その作業行程と日程を協議しました。

このデータベースは、惑星母星及び惑星が検出されなかった恒星の両方について、高分散分光で測定された表面組成、および、恒星のパラメータを集積し、惑星母星の特性、および、惑星の形成過程の研究に資することを目的としたものです。

作成にあたっては、DBの基本的な機能は、現在北大の宇宙観測基礎データセンターで公開している、SAGA database ように作成したものを利用しますが、SAGA database が銀河系ハローの金属欠乏星を主たる対象としているのに対して、惑星母星や比較星は、銀河円盤に属する金属に富んだ恒星で、相補的な関係にあります。したがって、両DSをあわせると、銀河系の恒星全般のデータベースが得られることになります。

ワークショップのプログラムを付記します。

=====

<惑星を持つ恒星の化学組成データベース構築のミニワークショップ>

日時：2009年3月2日 13:00-18:00

3月3日 10:00-15:00

場所：国立天文台三鷹キャンパス解析研究棟2F TV会議室

プログラム：

3月2日 <惑星親星のデータベースの目標>

13:00-13:10 藤本正行 (北大); データベースの作成意義について

13:10-13:40 勝田豊 (北大) : 惑星親星のDatabaseの作成に向けて

13:40-14:00 須田拓馬 (北大、英国Keele大学) : 金属欠乏星データベース

SAGA の紹介

14:00-15:00 佐藤文衛 (東工大) : 惑星探査の現状と展望

15:00-15:30 比田井昌英 (東海大) : 惑星DBに期待するもの

coffee break

16:00-16:30 竹田洋一 (国立天文台) : 惑星親星の組成

16:30-17:00 小杉泰正 (東海大) : 惑星親星の組成解析

17:00-17:30 安藤裕康 (国立天文台) : 恒星振動研究と惑星親星

3月3日

10:00-15:00 <データベース設計と作業工程>

=====

北海道大学大学院
理学研究院宇宙物理研究室
藤本正行